どうしました？ ドクター

大分大学教育学部
助教授 小林隆児

■こどもの心の発達（第23回）

盗み、嘘言

K子が両親と共に来院したのは小学4年の時でした。両親共働きで4歳下に弟がいます。主訴は親に平気で嘘をついたり、人の物や金を盗むというのです。K子は小さい時から病弱で、最近まで入院を繰り返していました。自分の要求を口に出すことの少ない子でしたが、好奇心は旺盛でデパートに連れていくとよく迷い子になるのに、母親の顔を見てもけろっとしていたといいます。嘘言が始まったのは小学2年で、最初は些細なことだったのですが、次第に親を困らせるようになり、ついに家の金を盗むまでにエスカレートしていったのでした。

K子は個人面接の中で4歳下の弟への嫉妬心が強いこと、家庭では母の仕事を巡って両親の口論が耐えないことの不満をはっきりと述べますし、作文には自分の性格が嫌いなどと自己の内省力の高さをうかがわせるものがあります。

K子は9歳にしては一見しっかりしてみえますが、幼児期から自己主張もせず、欲求を抑える習性が出来上がっていました。しかし、弟に嫉妬するなど強い依存欲求を垣間見せるにもかかわらず、今の母親にはそれが見えないようでした。K子は盗みという過激な手段でしか両親にアピールが出来ないほどに追い詰められていたのでしょう。

家族療法を通して両親間のわだかまりが次第に溶け始め、母子のコミュニケーションが増えるにつれ、いつの間にかK子の問題行動は消失していきました。

このように子どもの示す様々な問題行動には両親に対する多くのメッセージが含まれている

てみると母親は仕事への執着が強く、父親との間でそれを巡って対立し、K子の気持ちそっちのけで父親と口論を始める始末です。母親は今の仕事の生き甲斐を強調し、どうしてもやめたくないといいます。それは余りにも依存的な父親への不満にも聞こえるのでした。

イオン飲料や果物の与え方に注意

低年齢の子供の場合、保育環境や保護者の方の意識がむし歯の増減に大きく影響します。もしお母さんが、むし歯予防について、間違った知識を持っていると、その影響がすぐにお子さんの口の中にあらわれると云う訳です。最近、特に目だってきたのがイオン飲料や果物の間違った与え方によって出来たむし歯です。現在、イオン飲料は多量に市販されるようになり、手軽に口に入るようになりました。

小児科で、乳幼児の発熱時の脱水症状を防止する為に大変有効だと認められ、その使用が推奨されています。この為、低年齢児をかかえる一般家庭に於いても、乳幼児対象のイオン飲料を常備することが多くなりました。しかし、困ったことに体に良いものだからむし歯にもなりにくいだろうと勝手に解釈し、だらだらと与えてしまっていることが多いようです。また、果物類も同様に、甘いお菓子を与えと考えて随時、無制限に与えられている方があるようです。歯の表面を脱灰し始める（溶かす）PHは5.4と言われていますが、これらイオン飲料や果汁のPHは2～4とかなり低く、その上糖分も沢山含んでいます。

おやつの時間が決まっているような家庭での摂取の仕方では、歯の表面が一時的に脱灰しても、すぐに唾液のなかのリンやカルシウムが再付着して、元の状態に回復しますので問題はありませんが、長い時間をかけてだらだらとこれらの飲料水や果物を摂取すると、（例えば、哺乳瓶のなかに入れてのみながら寝るとか、ミカンのふくろをチュッチュッと吸いながらずっとくわえたままでいる）歯がこれらの酸の中に浸ったままの状態になり、生えたばかりの弱い乳歯の表面が溶かされてボコボコ穴があいてしまうのです。体に良い物でもその与え方を間違うと困ったことになります。お母さんのしつけ

福岡歯科大学
小児科歯科学教室
助手 石井 香

健康コラム

皮膚病の予防・治療

―全身の皮膚を清潔に―

Q 満二歳の娘ですが、体に湿疹ができた時はやはりシャワーなどは使わない方がいいのでしょうか。石けんはどうでしょうか。

A 全身の皮膚をきれいにしておくことは、皮膚病の予防、治療の原点です。現在では、湿疹があるからということで入浴や石けんを禁止することはありません。このことがまだまだ広く知られていないことが皮膚科医の悩みの種です。

ただし、トラブルのある皮膚をいたわりながら清潔にするためには、それなりの工夫が必要になります。

まず湿疹などでは、あまり熱いお湯に入って体があたたまりすぎるとかゆくなります。シャワーでさっぱりと洗う方がよいでしょう。とびひなどでも、汚れが流れ落ちるシャワーをぜひ利用してほしいものです。石けんも特殊なものでなくてだいじょうぶです。ただ、あまりかたいものでこすってほしくありません。問題は清潔にしたあと、必らず外用薬を塗り直しておく